

本県の周産期医療に関する統計について

1 概要

厚生労働省の「令和3年人口動態統計（確定数）の概況」によると、本県の周産期死亡率等の周産期医療に関する指標は以下のとおりであった。

2 周産期死亡率の推移

(1) 周産期死亡率は2.5～3.0を推移しており、全国的に低い水準を維持している。

		平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年
周産期死亡率	全国	3.5	3.3	3.4	3.2	3.4
	宮崎県	2.5	2.6	2.5	2.5	3.0
	順位	47	43	44	43	35

※周産期死亡率：出産数（出生数＋妊娠満22週以後の死産数）千に対する周産期死亡数の割合

※順位は数値の低い順で記載

3 乳児死亡率の推移

(1) 乳児死亡率は近年2～2.5を推移している。

		平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年
乳児死亡率	全国	1.9	1.9	1.9	1.8	1.7
	宮崎県	1.1	2.5	2	2.2	2.4
	順位	46	5	27	12	4

※乳児死亡率：出生数千に対する乳児死亡数の割合

※順位は数値の低い順で記載

4 新生児死亡率の推移

(1) 新生児死亡率は、近年全国平均と同様の数値で推移している。

		平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年
新生児死亡率	全国	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8
	宮崎県	0.3	1.1	0.5	0.9	0.7
	順位	47	15	44	20	35

※乳児死亡率：出生数千に対する新生児死亡数の割合

※順位は数値の低い順で記載

5 合計特殊出生率の推移

		平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年
合計特殊出生率	全国	1.43	1.42	1.36	1.33	1.30
	宮崎県	1.73	1.72	1.73	1.65	1.64
	順位	2	3	2	2	3

(1) 本県の合計特殊出生率は、この10年間2位～3位を推移している。

(2) 合計特殊出生率1.73は過去20年間で最も高く、平成6年の1.76に次ぐ数字。

※合計特殊出生率：15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの

※順位は数値の高い順で記載